

症例報告12

要旨

ストーマ周囲皮膚の合併症の発生率は高く、ストーマ造設患者の半数以上が生涯のうちにストーマ周囲皮膚の問題を経験しています¹。合併症の種類、原因、それらの治療方法は、それぞれ大きく異なります。医療従事者は、ストーマ周囲皮膚の合併症の管理に多くの時間と労力を費やしています。患者にとって、ストーマ周囲皮膚の痛みは、生活の質に大きな影響を与えかねません。ストーマ周囲皮膚の合併症は、ストーマ造設後の最も一般的な術後合併症です²。この症例報告で、そのような症例の1つをご報告します。

目的

患者に適した面板を選択し、ストーマ周囲に面板が適切に密着することで、ストーマ周囲皮膚の異常を改善させ、健康な状態を維持すること。

患者の概要

患者は中年男性で、結腸癌(S状結腸)と診断されました。結腸腫瘍が膀胱および前立腺に浸潤した結果、回腸人工肛門造設術と人工膀胱造設術の両方が行われました。化学療法(経口および静注)と放射線療法の両方を受けていました。カペシタビン誘発性口腔粘膜炎のため入院しました。入院中に回腸ストーマから漏れていたため、WOCナースの助言を求めました。尿路ストーマ周囲の装具は十分に密着しており、装着期間は4日間でした。この症例報告は回腸ストーマの管理について述べます。

患者は非常に前向きで、これが一時的な合併症であることを理解し、WOCナースが力になってくれると信じていました。また、患者の家族は協力的で、進んで患者を支援しようとしていました。

問題

回腸ストーマの管理には、装着期間の長いフリーカットタイプの二品系凸面型装具とリング状の用手成形皮膚保護剤を使用していました。そして装着期間は4日間としていましたが、皮膚損傷が生じました。皮膚の最上層が剥がれ、浸出液があり、湿った状態となりました(写真1)。装着期間は数時間と短くなり、患者は強い痛みを訴えました。疼痛をできるだけ軽減するため、尿路ストーマの装具の面板のテープの端を切り取り、皮膚が剥がれている領域にかからないようにしました。

ケアの実際

2つのストーマの間の皮膚に細長く成形した用手成形皮膚保護剤を貼り、回腸ストーマからの漏れによって尿路ストーマ周囲の密閉が損なわれないようにしました。セラプラスの二品系凸面型装具「ニューイメージ セラプラス 凸面 テープ付」の裏に用手成形皮膚保護剤を追加し(写真2)、回腸ストーマの周囲に装着しました。装着したら、両方の面板のテープの端および2つのストーマの間の細長く成形した用手成形皮膚保護剤をハイドロコロイドドレッシング材で覆い、加えて、装具が外れないようにストーマベルトを装着しました。

裏面に続く

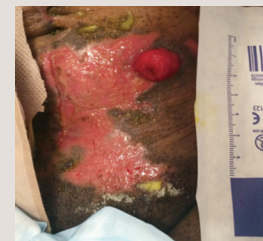


写真1 皮膚保護剤の下に皮膚は浸出液があり湿っています。



写真2 処置および製品の使用。



写真3 4日後、ストーマ周囲皮膚に肉芽組織、再上皮化、再色素沈着を認めます。

セラプラス™

*リモイス技術使用

寄稿者および略歴

Erin Testerman BSN, RN, CWOCN
ニューヨークプレスビテリアン、
コロニアメディカルセンター
ニューヨーク州、アメリカ

症例報告12

結果

4日後のアセスメントでは、回腸ストーマ周囲皮膚に肉芽組織、再上皮化、再色素沈着を認めました(写真3)。数時間であった装着期間は4日間と長くなり、4日目の装具交換時に皮膚科チームが皮膚を評価することができました。

患者は、回腸ストーマの管理にセラプラスの二品系凸面型装具「ニューイメージ セラプラス 凸面 テープ付」と開放型ストーマ袋を使用して退院しました。用手成形皮膚保護剤の使用は継続しましたが、2つのストーマの間に追加されたハイドロコロイドドレッシング材の使用は中止しました。患者は自分で装具を交換し、ストーマケアを自立して行っていました。患者は外来受診の予約まで待って装具を交換したかったため、経過観察を予約した週には装着期間は6日間にも達しました。回腸ストーマも尿路ストーマも、通常の装着期間は4日間でした。

結論

ストーマ保有者の多くは、ストーマ周囲皮膚に問題が生じて、ストーマを造設したら、仕方のないこととしてそれらの問題を受け入れていきます³。皮膚刺激を軽減する手段として、ストーマ周囲の十分な密着を達成し、漏れを防止することが重要です。皮膚保護剤の成分もストーマ周囲皮膚の健康に影響を及ぼします。皮膚保護剤の配合成分と密着性の適切な組み合わせを見つけることは、ストーマ周囲皮膚を健康な状態に維持するために不可欠です。

引用情報:

1. Richbourg L, Thorpe J, Rapp C. Difficulties experienced by the ostomate after hospital discharge. J Wound Ostomy Continence Nurs. 34(1):70. 2007.
2. Meisner S, Lehur P-A, Moran B, Martins L, Jemec GBE. Peristomal Skin Complications Are Common, Expensive, and Difficult to Manage: A Population Based Cost Modeling Study. PLoS ONE. 2012; 7(5): e37813.
3. Whiteley IA and Sinclair G A Review of Peristomal Skin Complications Following the Formation of an Ileostomy, Colectomy or Ileal Conduit. World council of Enterostomal Therapists Journal, 2010; 30(3) p. 23-29.

この症例報告は、特定の患者に「ニューイメージ セラプラス 凸面 テープ付」を使用した場合の一人の看護師の経験を示すものであり、すべての症例に適応できるとは限りません。

ご使用前にパッケージに同梱された「製品の使用目的」「禁忌」「警告」「注意事項」、および「使用方法」を必ずお読みください。

Hollister (ホリスター) のロゴ、CeraPlus、および「Healthy skin. Positive Outcomes. (『健康な肌』からより良い毎日を支える。)」はホリスター社の商標です。

その他のすべての商標と著作権はそのそれぞれの所有者に帰属します。

製品の中にはCEマークがついていないものもあります。

© 2019 Hollister Incorporated.



リモイスはアルケア株式会社の技術です。



製造元 Hollister Incorporated

販売元 株式会社ホリスター

0120-032-950



写真4 22日後のストーマ周囲皮膚。